

GENUINE PARTS

純正部品番号 SG817FE000
 適応車種 インプレッサ・ターボ車
 (2000.8月以降)

スポーツシングルメーター



取扱説明書
 取付説明書

お客様用

この度は、スバル純正スポーツシングルメーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取り扱い説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて正しい取り扱い方法により、長くご愛用くださるようお願い申し上げます。

なお、取り付けミス为了避免するためにも、取り付けはスバル特約店又は、スバル特約店が指示した販売店でお願い致します。

この取り付けマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容のものです。人身事故や財物損害を防止するために、次のような表示をしております。

 警告	取り扱いを誤った場合、重大な事故が生じる可能性のあることを示します。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者等がケガをしたり商品が破損することが予想されることを示します。
確認	「必ず行って頂く事」を示しています。

お願い

ご使用前にこの説明書をお読み頂き、常に正しい取り扱いをしてください。
 又、この説明書はいつもお手元に置いてご活用ください。

警告

- 本製品は電子機器です。落としたり、濡らしたりしないでください。
- 本製品はお買い上げ頂いた販売店または、ディーラーでお取り付けください。
- 本製品は絶対に、分解や改造をしないでください。分解や改造された製品については、保証致しませんのでご注意ください。



取り扱い上の注意

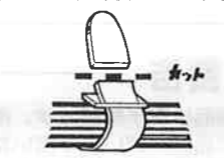
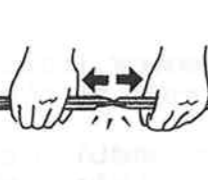

- インプレッサ2000年8月以降ターボ車専用です。他の車種には取り付けしないでください。
- 本製品に付属されている以外の配線などを使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、容量・強度を確認してください。
- 使用しない配線は、絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時に外したり、ゆるめた部品やコネクタ、新たに配線したものなどは必ず正しく組みつけ、固定してください。
- 本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品の端子やスイッチなどに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
- 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
- センサーは熱のこもらない場所、及び水の掛からない場所を選んで取り付けてください。センサー破損の原因となります。
- コードを強く引っ張らないでください。
- センサーやセンサーハーネスは、点火信号や無線などのノイズの発生しそうな所を避けて取り付け、配線してください。点火系などのノイズはメーター誤作動の原因となります。
- コントロールユニットは、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けしないでください。
- ハンダ付けで、火傷をしたり、配線にあたり手を切傷することがないように、手袋を着用してください。
- バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される物があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って、設定し直してください。
- 天候その他の条件によってはスポーツシングルメーターのガラス面が反射して見づらい場合があります。
- スポーツシングルメーターを取り付けることにより、電波状態や選局によってはラジオにノイズが発生する場合があります。

取付作業用

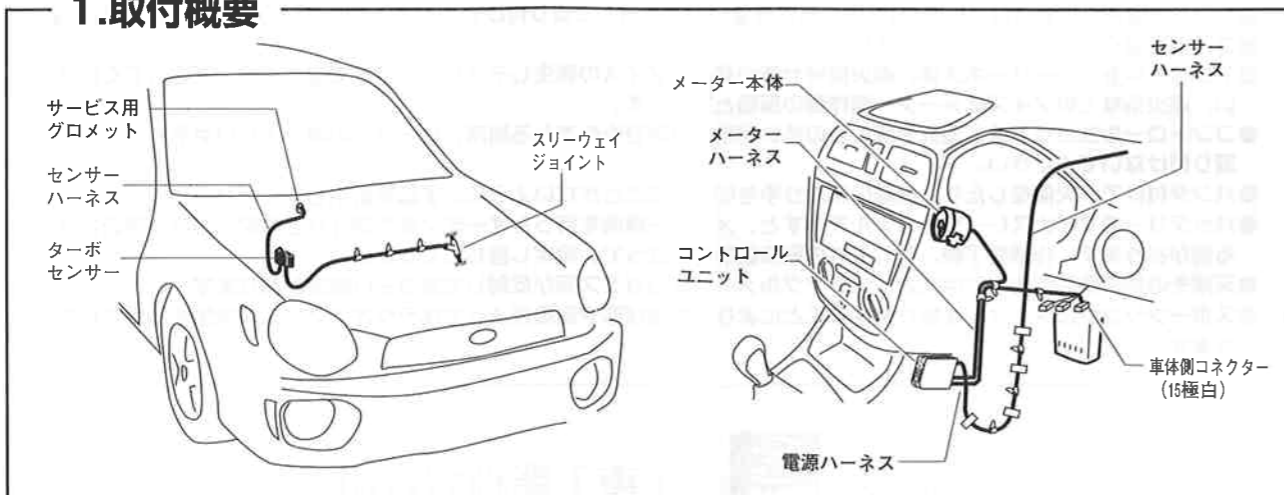
本書は、スポーツシングルメーターの取り付け方法、並びに取り扱い方法について記載してあります。取り付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。取り付け後は本資料を必ずお客様にお渡しください。

※メーター本体及びコントロールユニットの取り付けは推奨位置となっておりますが、念の為お客様の希望を確認した上で取り付けを行ってください。


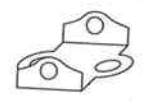
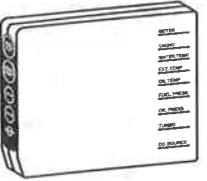





注意

<p>1.必ず、バッテリーの⊖側ケーブルを外してください。 [ラジオのプリセットチューニングなど] 電装品のメモリーを控えておく。]</p> 	<p>2.ランプ・ホーン・ワイパー・オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認してください。 [取り付け後の修復チェックを確実に行う。]</p> 	<p>3.ボルト・ナットの締め付けには、寸法にあった工具を利用して確実に行ってください。 [締め付けトルクの指示がある部位は規定トルクで締め付ける。]</p> 
<p>4.車両のコネクターを外す際は、リード線を引張らず、コネクター本体を持ってロックを外してください。 [ハーネス断線を防止する。]</p> 	<p>5.コネクターやターミナル・端子は、確実に接続してください。 [接続不良を防止する。]</p> 	<p>6.ハーネス(配線)配策は、車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用しブラブラさせないでください。 [ラジオのプリセットチューニングなど]</p> 
<p>7.部品の取り付けや、外したフィニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスを引っ掛けたりかみ込んだりしないでください。 [ハーネス断線を防止する。]</p> 	<p>8.車両のワイヤリングハーネスを強く引張らないでください。 [コネクター外れや断線を防ぐ。]</p> 	<p>9.ハーネス配策後、修復前に取り付けした部品の作動チェックを行ってください。 [誤配線の防止。]</p> 

1.取付概要



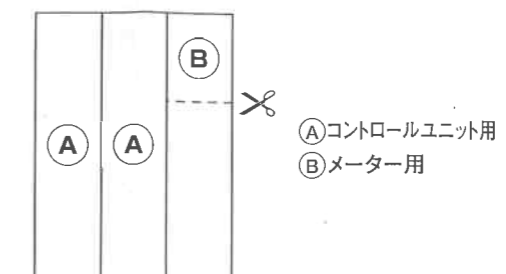
2.構成部品

 メーター本体 1ヶ	 メーターホルダー(耐熱ABS) 1ヶ	 モルトプレート 2ヶ	 メーターハーネス(1m) 1ヶ	 取付金 1ヶ
 取付ゴム 1ヶ	 M4X30ネジ&ナット 1ヶ	 M4X12ネジ&ナット 2ヶ	 コントロールユニット 1ヶ	 電源ハーネス(0.8m) 1ヶ
 取付板 1ヶ	 M4X10タッピンネジ 2ヶ	 両面テープ 1ヶ	 ターボセンサー (ハーネス2.5m) 1ヶ	 M6X14 六角ボルト (ターボセンサー用) 1ヶ
 スリーウェイジョイント 1ヶ	 ゴムホース(0.9m) 1ヶ	 結束バンド(80mm/ナイロン66) 11ヶ	 型紙 1枚	

3.取り付けに必要な工具

プラスドライバー ボックスレンチ(10mm) ドリル(4.5φ・3.2φ) カッター ハサミ ポンチ ニッパー
ビニールテープ プライヤー ガムテープ

両面テープのカット方法



4.取り付け要領(取付作業用)

1.バッテリーケーブルの取り外し

- 1.ラジオのプリセットチューニングなどの電装品メモリーを控えておいてください。
- 2.バッテリーのマイナス(-)ターミナルを取り外してください。

2.ターボセンサーの配管

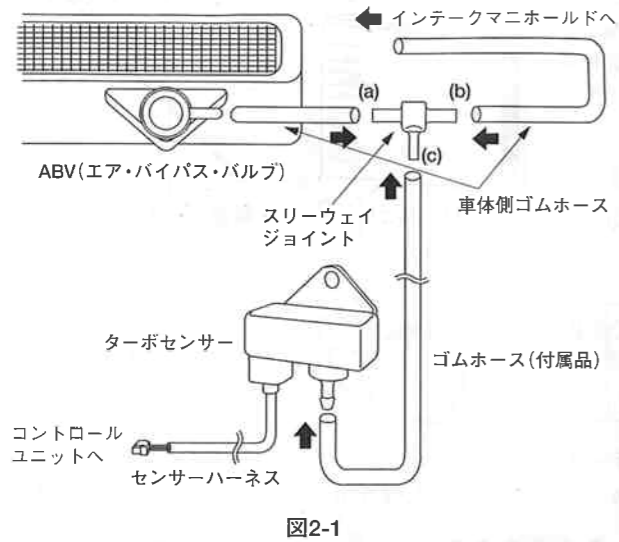


図2-1

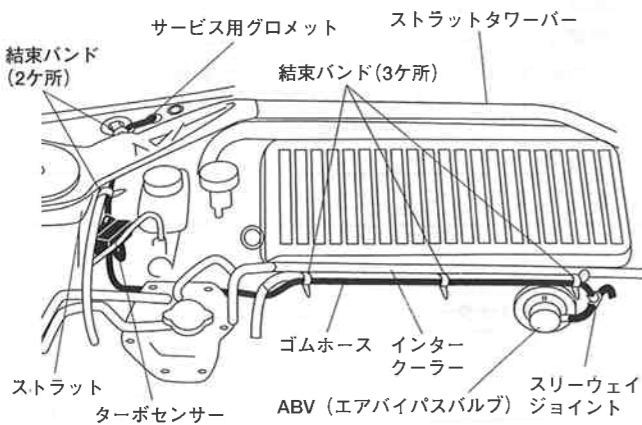


図2-2

- 1.カバーを外してください。
- 2.エアクリーナーのアップパーカバーを外してください。
- 3.車体のABV(エア・バイパス・バルブ)に接続されているホースをバルブ側から約60mmの所で切断しそれぞれをスリーウェイジョイント(a)・(b)に取り付けてください。(図2-1)
- 4.スリーウェイジョイント(c)とターボセンサーを付属のゴムホースでつなげてください。(図2-1)
- 5.ストラットのネジ穴(下側)にターボセンサーを付属の六角ボルトで固定してください。(図2-2)
- 6.4.で取り付けしたゴムホースをインタークーラーに結束バンド(3ヶ所)で固定してください。(図2-2)
- 7.ターボセンサーハーネスを車体側の配線と結束バンド(2ヶ所)で共締めしてください。(図2-2)
- 8.サービス用グロメットを外します。これにカッターで切りかきを入れてください。切りかいた穴からセンサーハーネスを通して車室内へ引き廻し、再びサービス用グロメットをはめてください。(図2-2)

確認

余った結束バンドは必ず切除してください。

注意

- ゴムホースやセンサーハーネスの固定には車体側の電気ハーネスに結束してください。機械部品に結束すると熱により変質や破損の恐れがあります。
- サービス用グロメットの防水処理は必ず行なってください。

4.取り付け要領

3.メーター取り付け

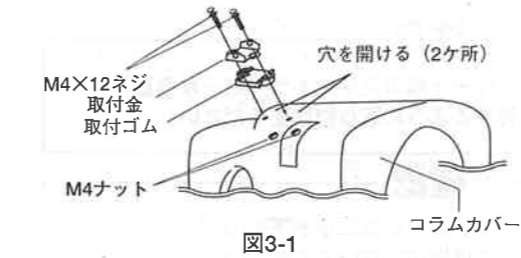


図3-1

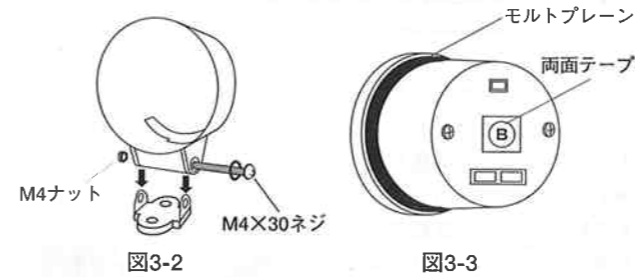


図3-2

図3-3

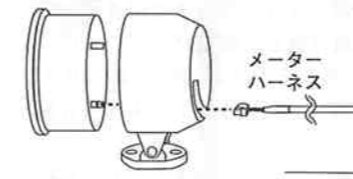
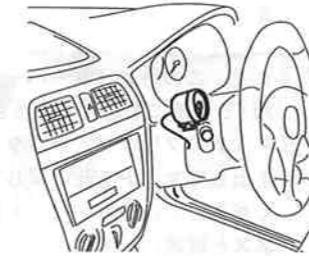


図3-4



取付完成図

- 1.メーターパネルをはずします。
- 2.コラムカバーをはずします。はずしたコラムカバーに付属の型紙をあてて、ネジ下穴φ4.5mmの穴をあけてください。(図3-1)
- 3.取付金に取付ゴムをセットした状態でこの穴にM4×12ネジ(2本)とナット(2コ)を使って固定してください。(図3-1)
- 4.メーターホルダーの溝に取付金の凸部をはめて、M4×30ネジ(1本)とナット(1コ)を使って固定してください。(図3-2)
- 5.メーターホルダーを取り付けたコラムカバーをもとにもどしてください。
- 6.メーター本体にモルトプレーンと両面テープ(B)を貼ってください。(図3-3)
- 7.メーターホルダーの穴にメーターハーネスを通してメーター本体につなげてください。その上で、メーター本体をメーターホルダーにセットします。(メーターハーネスを噛み込まないように注意)(図3-4)

警告

取り付け・取り扱いは、本書をよくお読みいただき、安全に、正しくお取り付けください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、脱落や車両破損の原因となり、大変危険です。

4.コントロールユニットの取り付けと配線

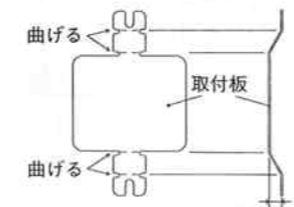


図4-1

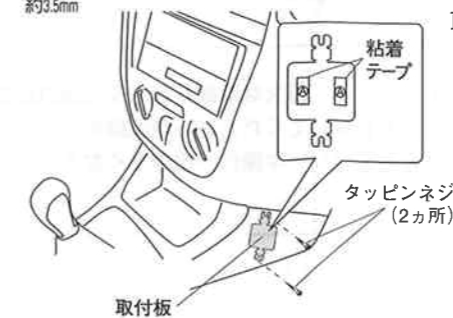


図4-2

- 1.取付板をプライヤーで曲げます。(4ヶ所)(図4-1)
- 2.コンソールボックスの運転席側の面に型紙をあててネジ下穴φ3.2の穴を開けます。この穴にあわせて、タッピンネジ(2ヶ所)で取付板を固定します。付属の粘着テープ(A)(2ヶ所)を取付板に貼ります。(図4-2)

4. 取り付け要領

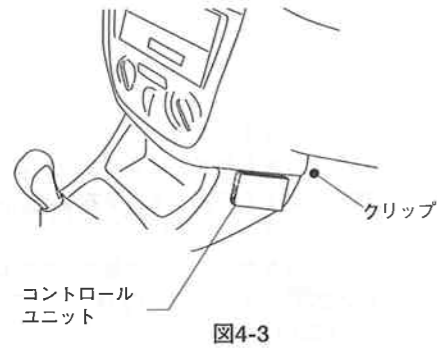


図4-3

3. コントロールユニットを取付板に取り付けます。(図4-3)

⚠️ 注意

スイッチ類の文字がドライバーから正しく見えるように取り付けてください。

⚠️ 確認

コントロールユニット下側のディップスイッチは操作しないでください。

5. ハーネス類の配線 (車室内)

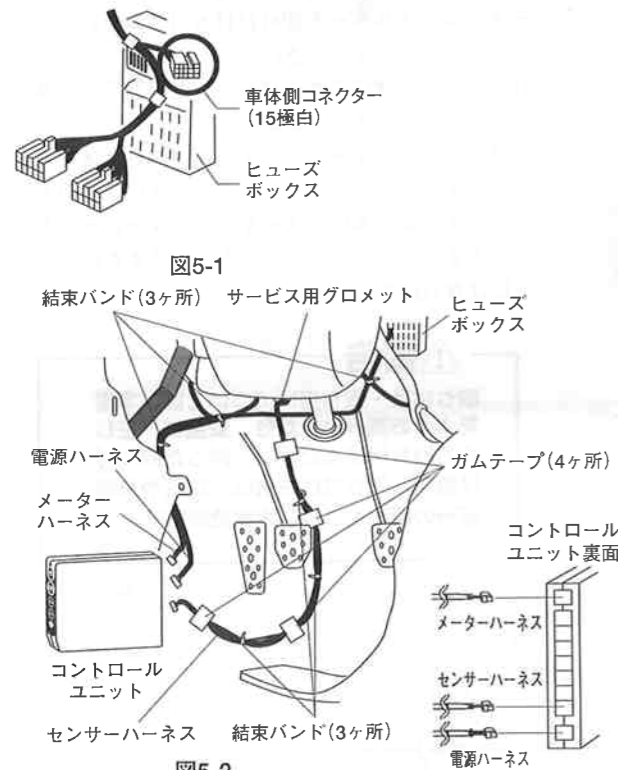


図5-1

図5-2

図5-3

1. ヒューズボックス近くにあるコネクタ (15極:白) を見つけてください。これに電源ハーネスのコネクタを接続します。(図5-1)
2. センターコンソール下のクリップ (1ヶ所) (図4-3) を外して運転席側のマットをはがします。
3. サービス用グロメットから出したターボセンサーハーネスをコントロールユニットまで引き廻してみても長すぎる分は折り返して結束バンド (3ヶ所) で固定します。更にガムテープ (4ヶ所) で車体のフロアーに固定してコントロールユニットへ引き廻してください。
4. 電源ハーネスは車体ハーネスに結束バンド (3ヶ所) で固定しながらコントロールユニットへ引き廻します。この時メーターハーネスも結束バンド (2ヶ所) で一緒に固定してください。
5. マットのクリップ穴からターボセンサーハーネスを出してマットを元に戻して、クリップをはめてください。この時、マットの端からメーターハーネスと電源ハーネスを出しておいてください。
6. 各ハーネスを図5-3のようにコントロールユニットへ接続してください。

⚠️ 確認

コントロールユニットと各ハーネスのカプラーの色が同じことを確認した上で接続してください。

6. 動作確認

1. 取り付け配管が確実に接続され、配管の差し忘れや誤配線、及び吸気漏れがないか確認してください。
2. ハーネス類が、運転の妨げにならないように、確実に固定されているか、もう一度確認してください。
3. メーター取り付けの際に取り外した、車両側の内装、ハーネス類が元通りに戻されているか、もう一度確認してください。

⚠️ 警告

- 最終仕上げとして、上記の項目を必ず実施してください。重大な事故が発生する恐れがあります。
- 作業終了後は必ず、運転席の足下に何も無いことを確認してください。運転席の足下に空缶や使用した工具などがあると、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作が出来なくなるなどの恐れがあり大変危険です。

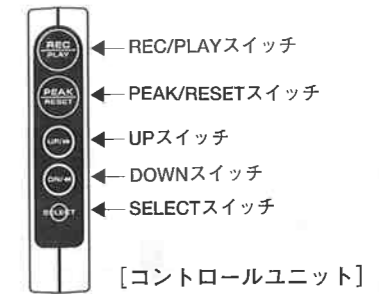
4. バッテリーのマイナス (-) ターミナルを、外れないようにしっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めてください。
5. 取り付け作業が終了したら、イグニッションキーをONにしてメーターのワーニングLEDが点滅しないことを確認してください。点滅している場合はコントロールユニットの各センサーハーネスの接続を再度確認してください。

5. 操作方法 (お客様向け) 次の注意事項をよくお読みの上、理解されてから本製品をご使用ください。

1. 各部の名称

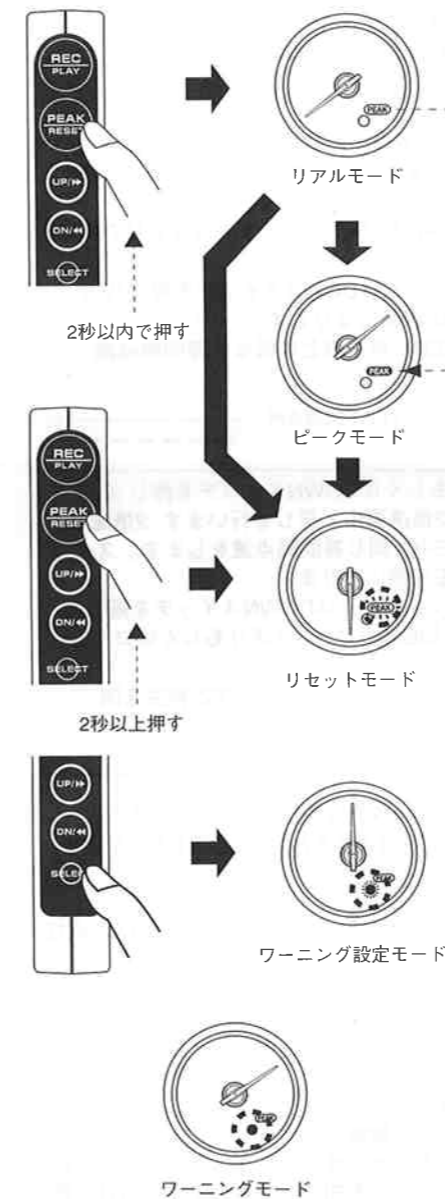


[メーター本体]



[コントロールユニット]

2. モードの説明1



- 「リアル・モード」
指針がリアルタイムに車の状態を指示します。同時にピーク値をコントロールユニット内に記憶します。
- 「ピーク・モード」
1. コントロールユニットのPEAK/RESETスイッチを2秒以内で押し、PEAK LEDが点灯し、「ピーク・モード」になります。
2. このスイッチがON (PEAK LED点灯) の時は全てのメーターの指針が一斉にピーク値を指示したままになります。
3. コントロールユニットは随時更新されたピーク値を記憶していきます。(車のキーをOFFにしてもメモリー機能が働き、ピーク値は残ります。)
4. 再び、PEAK/RESETスイッチを2秒以内で押し、リアル・モードに戻ります。

ピーク値について

ピーク値とは瞬間的な最大値です。環境や走行条件によってピーク値は異なります。

- 「リセット・モード」
1. コントロールユニットのPEAK/RESETスイッチを2秒以上押し続けると、PEAK LED (緑) が一斉に点灯から点滅に変わります。
2. これでリセット完了です。
3. あとは、スイッチから手を離せば全てのメーターが一斉に「リアル・モード」に戻ります。
※リセットは、「リアル・モード」、「ピーク・モード」のどちらの状態からでもできます。
- 「ワーニング設定・モード」
1. コントロールユニットのSELECTスイッチを押すと全てのメーターのWARNING LED (赤) が一斉に点滅して、ワーニング設定モードになります。設定できるメーターは、LEDの点滅が早くなります。
2. あとはUPスイッチ/DOWNスイッチに連動してUPスイッチで上昇、DOWNスイッチで下降して、ワーニング値を設定します。
※スイッチを押し続けると、早送りになります。

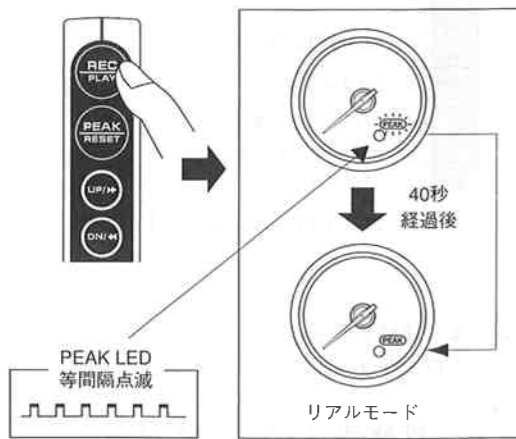
⚠️ 警告

走行中の設定は非常に危険です。車が停車している状態で設定してください。

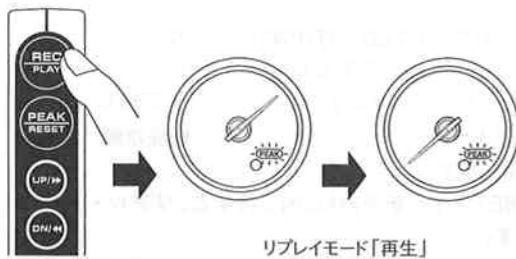
- 「ワーニング・モード」
1. ワーニング設定モード時に設定した値以上になるとWARNING LED (赤) が点灯します。

5.操作方法

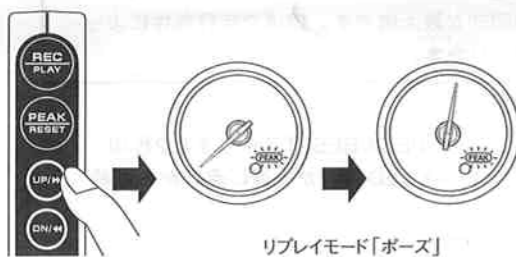
3.モードの説明2



リプレイモード「記録」

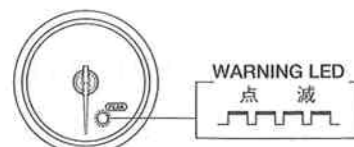


リプレイモード「再生」



リプレイモード「ポーズ」

4.チェック機能の説明



「リプレイ・モード」

1.取り付けられたメーター各々が、同時に、走行状態を最大40秒間記録・再生します。

記録

1.リアルモードでコントロールユニットのREC/PLAYスイッチを押すと、全てのメーターのPEAK LEDが等間隔点滅して、最大40秒間走行状態(各々のメーターが)記録します。



2.40秒経過すると、PEAK LEDの等間隔点滅が停止してリアルモードに戻ります。

3.40秒経過する前に記録を終了させたい時は、REC/PLAYスイッチを押すと、PEAK LEDの等間隔点滅が停止してリアルモードに戻ります。

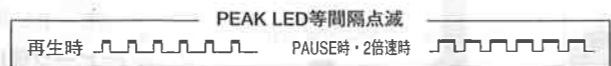
再生

1.ピークモードの時、コントロールユニットのREC/PLAYスイッチを押すと、全てのメーターのPEAK LEDが同時に等間隔点滅して、記録したデータの再生を開始します。

2.再生が終了または、PEAK/RESETスイッチを押すとリアルモードに戻ります。

3.再生中にUPスイッチもしくはDOWNスイッチを短く(0.5秒以内)押し、PAUSE状態になります。

4.PAUSE中は、PEAK LEDが再生時とは異なる等間隔点滅します。



5.再生中にUPスイッチもしくはDOWNスイッチを押し(0.5秒以上)続けている間は2倍速再生/戻しを行います。2倍速中、PEAK LEDは、PAUSE中と同じ等間隔点滅をします。スイッチを放すと、PAUSE状態になります。

6.PAUSE中に、UPスイッチもしくはDOWNスイッチを短く押し(0.5秒未満)押した回数だけ、コマ送りもしくはコマ戻しを行います。

7.PAUSE状態で、PEAK/RESETスイッチを押すと再生を開始します。

警告

エンジン始動後、必ずメーターをチェックしてください。
万一異常を発見できずに発進させると大事故の恐れがあります。

「オープニングモード」

指針が動作して、照明、PEAK LED、WARNING LED が点灯することにより、動作の確認ができます。

「断線チェック機能」

この機能は、センサー及びセンサーハーネスの断線、配線抜け、誤配線があった場合を知らせるものです。指針は真下を示し、WARNING LED が点滅します。

※電源ハーネスの断線はチェックできません。

「短絡(ショート)チェック機能」

この機能は、センサー及びセンサーハーネス上のどこかで短絡(ショート)があった場合を知らせるものです。指針は真下を示し、WARNING LED が等間隔点滅します。

※電源ハーネスの短絡は、チェックできません。

「シリアルエラー機能」

この機能は、メーターとコントロールユニット間のどこかで通信が出来なくなった場合を知らせる機能です。指針は真下を示しWARNING LED が2連続等間隔点滅します。

お客様用

この度は、スバル純正スポーツシングルメーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取り扱い説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて正しい取り扱い方法により、長くご愛用くださるようお願い申し上げます。

なお、取り付けミスを避けるためにも、取り付けはスバル特約店又は、スバル特約店が指示した販売店でお願い致します。

この取り付けマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容のものです。人身事故や財物損害を防止するために、次のような表示をしております。

警告	取り扱いを誤った場合、重大な事故が生じる可能性のあることを示します。
注意	取り扱いを誤った場合、使用者等がケガをしたり商品が破損することが予想されることを示します。
確認	「必ず行って頂く事」を示しています。

お願い

ご使用前にこの説明書をお読み頂き、常に正しい取り扱いをしてください。
又、この説明書はいつもお手元に置いてご活用ください。

警告

- 本製品は電子機器です。落としたり、濡らしたりしないでください。
- 本製品はお買い上げ頂いた販売店または、ディーラーでお取り付けください。
- 本製品は絶対に、分解や改造をしないでください。分解や改造された製品については、保証致しませんのでご注意ください。



取り扱い上の注意

- インプレッサ2000年8月以降ターボ車専用です。他の車種には取り付けしないでください。
- 本製品に付属されている以外の配線などを使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、容量・強度を確認してください。
- 使用しない配線は、絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時に外したり、ゆるめた部品やコネクタ、新たに配線したものは必ず正しく組みつけ、固定してください。
- 本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品の端子やスイッチなどに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
- 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
- センサーは熱のこもらない場所、及び水の掛からない場所を選んで取り付けてください。センサー破損の原因となります。
- コードを強く引っ張らないでください。
- センサーやセンサーハーネスは、点火信号や無線などのノイズの発生しそうな所を避けて取り付け、配線してください。点火系などのノイズはメーター誤作動の原因となります。
- コントロールユニットは、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けしないでください。
- ハンダ付けで、火傷をしたり、配線にあたり手を切傷することがないように、手袋を着用してください。
- バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される場合があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って、設定し直してください。
- 天候その他の条件によってはスポーツシングルメーターのガラス面が反射して見づらい場合があります。
- スポーツシングルメーターを取り付けることにより、電波状態や選局によってはラジオにノイズが発生する場合があります。